

名寄の寿 (豊春名集寿)

初春や

四方に目出度き三番叟  
福寿ぞろいの蓬菜に

千歳の枝のかつしげく

かむろ万歳松の内

祝ひ初めしを数ふれば

はや七草と松ののち

やがてうれしき春霞

富士と筑波の江戸桜

よるの編笠かざしきて

花ある里をたづね尋ねて

こゝに

思ひを十寸見桜や

恋桜

口説の鳥のにくらしく

帯ひきとめてかし小袖

小袖模様の貝づくし

夕汲みあげし雛の磯

清見江の島つらと

仇なこゝろに浮む瀬や

誰が来てかけし

駕籠ぶとん

それ憎からぬしかた松

常磐の声の楽しさに

まつの栄えを祝しける

松の栄えぞ祝しける。